

# カウンセリングⅡ

科目コード **FG2683**



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
<b>1</b>	<b>S</b> (講義)	<b>1</b> 年以上	<b>中村 恵子</b>

## ■スクーリングで学んでほしいこと

カウンセリングの目的は、問題解決にあります。カウンセラーは、質問とあいづちによって面接の流れをコントロールし、問題解決をマネジメントします。本講義では、基本的なあいづち技法と問題の本質にフォーカスする問題焦点化技法を学び、面接援助の土台づくりを目指します。

## ■到達目標

- 1) 基本的あいづち技法を会話に活用できる。
- 2) 問題に対する焦点の当て方を説明できる。
- 3) カウンセリングの意義と役割を説明できる。

## ■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	カウンセリングの基本的技法	あいづち技法と接近技法（対人関係ゲーム）
2	精神分析	精神分析の誕生と理論
3	来談者中心療法	来談者中心療法の誕生と理論
4	発達課題の達成	発達課題理論の誕生と臨床的理解
5	認知行動療法	認知行動療法の誕生と理論
6	行動分析	行動療法の基礎技法
7	スキーマ分析	認知療法の基礎技法
8	認知行動のオペレーション	誤学習の解除と刺激の操作
9	スクーリング試験	

## ■講義の進め方

講義と演習を中心にグループで学習を進めます。

## ■スクーリング 評価基準

授業への参加態度30% + スクーリング試験70%（持込可、論述式）

## ■スクーリング時の教科書

スクーリングにあたって、教科書は使用しません。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

---

講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

---

授業で提示される参考図書を学習してください。

■卒業までに身につけてほしい力との関連

---

心理実践力を身につけるため、とくに、「総合的な人間理解力」、「根拠に基づく情報発信力」、「共感と自他尊重に基づくコミュニケーション力」、「自己理解に基づくセルフコントロール力」、「集団理解に基づく対人調整力」、「心理学の学びを生かした社会貢献力」を身につけてほしい。